

# 農林水産商工常任委員会提出資料

(令和4年8月19日)

項 目	ページ
■ 鳥取県農作業死亡事故警報の発令と緊急啓発活動の実施について 【経営支援課】……………	2
■ 鳥取県みどりの食料システム戦略会議立上げ及び開催結果について 【生産振興課】……………	3
■ 第13回中海会議の開催結果について 【農地・水保全課、水産振興課】……………	4
■ 第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会「種牛の部」鳥取県最終予選会の 結果について 【畜産課】……………	6
■ 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について 【農地・水保全課】……………	7

農 林 水 産 部

# 鳥取県農作業死亡事故警報の発令と緊急啓発活動の実施について

令和4年8月19日  
経営支援課

県内での農作業死亡事故の発生を受け、鳥取県農作業安全・農機具盗難防止協議会では本年度初めての「鳥取県農作業死亡事故警報」を発令し、緊急かつ重点的な啓発活動を全県的に実施しています。

## 1 事故の概要

農業機械による農作業中の死亡事故が発生（本年度初めての死亡事故）

## 2 警報の発令

- (1) 発令日：8月10日（水）
- (2) 警報期間：発令日～8月23日（火） 14日間
- (3) 発令機関：鳥取県農作業安全・農機具盗難防止協議会

## 3 実施している啓発活動

- (1) テレビ・ラジオ等メディアを活用した広報
  - ・テレビ 日本海テレビ、山陰中央テレビ（ともに8月15日(月)～8月22日(月)）
  - ・ラジオ FM山陰（8月13日(土)～8月22日(月)）  
山陰放送（8月16日(火)～8月22日(月)）
- (2) 啓発チラシの作成と農業者への配布・伝達
- (3) 行政無線、ホームページ等での周知
- (4) J A 営農指導員、農業委員、農業改良普及員、農機販売店等による農業者への注意喚起（のぼりの掲出とマグネットシートの公用車等への掲示）

## 【参考】

### 1 鳥取県農作業安全・農機具盗難防止協議会の概要

- (1) 構成：県、J A グループ、農業共済組合、市町村、農機販売店等（会長 谷垣重彦 J A 鳥取中央会専務理事）
- (2) 主な活動：農作業安全に関する啓発活動
- (3) 警報の発令：農作業中の死亡事故が発生した場合「農作業死亡事故警報」を発令し、注意喚起、農作業事故発生抑止の取り組みを集中的に行う。  
※令和4年1月13日に鳥取県農作業安全・農機具盗難防止協議会の臨時総会を開催し、「農作業死亡事故警報及び多発警報」の創設と協議会構成員の拡大（全市町村）を決議した。

### 2 過去の農作業事故の発生状況

区分	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
事故数	10	8	12	6	6	12	6	10	4	15	5
うち死亡者数	7	6	6	4	2	1	1	6	1	7	1

※R4年度は8月15日時点

### 3 県の取り組み

令和4年度予算において「農作業安全対策事業」を拡充。徹底した啓発活動等を展開する。  
（予算額：10,000千円）

#### 【令和4年度予算における新設及び拡充事業】

【新設】農作業死亡事故警報等緊急啓発活動	6,721千円
【新設】担い手に対する農作業安全講習会	1,416千円
【拡充】対話型安全研修会	525千円
【拡充】農作業安全推進リーダー研修会	150千円
【新設】農機具の安全対策の強化	800千円

# 鳥取県みどりの食料システム戦略会議立上げ及び開催結果について

令和4年8月19日  
生産振興課

令和4年7月1日に施行された「みどりの食料システム法」を受け、環境に配慮した持続的な農業生産を進めるため、同法に基づき県と市町村が共同で基本計画を作成するに当たり、関係者から助言等をいただき本戦略会議を立上げ、オンライン開催しましたので、その概要を報告します。

- 1 日時 令和4年7月22日（金）午後1時から午後2時30分まで（オンライン開催）
- 2 出席者 鳥取県知事、JAグループ代表（中央会、全農とっとり、鳥取いなば、鳥取中央、鳥取西部、大山乳業、県畜産農協）、市長会、町村会、鳥取大学、生産者代表（有機栽培実践者）、消費者代表（鳥取市連合婦人会）、県農林水産部

### 3 主な内容

- (1) 「みどりの食料システム法」の概要
- (2) 本県における環境に配慮した農業の現状
- (3) 基本計画（案）の主な検討事項

推進目標(目標年度：2027年度)	推進施策（事業内容）
①生産現場での環境づくり ・化学肥料・農薬使用量の削減 ・有機・特栽面積の拡大 ・農業用廃プラスチック排出量の低減	技術の開発と実証、生産に必要な体制づくり、生産者等の育成、地域のネットワークづくり、地域資源（家畜排せつ物、食品残渣等）の有効活用や農業用廃プラスチック問題への対応
②販路の確保	生産者と販売事業者等とのマッチング機会の提供、販売事業者等への環境負荷軽減の各種取組のPR、生産者の販売促進活動への支援
③消費者等の理解の促進	各種イベントを活用した環境負荷軽減の取組のPR、県内量販店等での環境負荷軽減の農産物等の販売コーナーの設置への協力、地産地消の推進活動の支援

対象地域：県内全市町村

#### (4) 今後のスケジュール(案)

令和4年8月～11月	市町村、JA等との意見交換（適宜）
令和4年9月	「みどりの食料システム法」に基づく国の基本方針の公表
令和4年12月	第2回戦略会議 → 基本計画の骨子案の取りまとめ
令和5年1月～2月	全市町村と基本計画案の最終調整
令和5年3月	第3回戦略会議 → 基本計画案の最終確認 国へ同意申請

### 4 出席者からの主な意見

- 化学肥料削減のため、堆肥入り肥料3種類を各JAと検討している（全農とっとり）。
- 堆肥の利用促進、コスト低減のために鳥取県オリジナルの堆肥入り肥料の早期開発を目指したい。まずは、現地試験を行い、将来的には栽培暦に反映させたい（JA鳥取中央、JA鳥取西部）。
- 堆肥施設の老朽化への対応が必要である（JA中央会、JAいなば）。
- 食品残渣等を肥料化した製品は、JAを通して販売しており、使いやすい肥料として好評である（鳥取市）。
- 地域資源（家畜排せつ物、食品残渣等）を循環させるのは良い取組である。県内で利用可能な家畜排せつ物等の量を把握しておく必要がある（鳥取大学）。
- 有機農業を実践してきた事例を新規に取組む生産者に向けて役立ててほしい（生産者代表）。
- 有機農産物の専門店が少なく、購入場所がわからない。「みどりの食料システム戦略」が進めば、購入できる店舗が増えていくことを期待している（消費者代表）。

### 5 今後の対応

- ・基本計画(案)の主な検討項目について異論はなかったため、項目ごとの具体的な内容について検討を進めていく。
- ・化学肥料の低減に向けた肥料価格高騰対策を検討するとともに、国の基本方針及び令和5年度予算編成の動向等を注視しながら、市町村や農業団体等との意見交換を重ね、年度内に基本計画を作成したいと考えている。

## 第13回中海会議の開催結果について

令和4年8月19日  
総合統括課  
水環境保全課  
農地・水保全課  
水産振興課  
河川課

沿岸住民の生命と財産を守り、美しい中海の自然環境を次代に引き継ぐため、中海に関する諸問題を協議検討する第13回中海会議を以下のとおり開催しました。

(参考) 中海会議とは

平成21年12月19日に締結した鳥取、島根両県知事の「協定書」を踏まえ、沿岸住民の生命と財産を守り、美しい中海の自然環境を次代に引き継ぐため、新たに中海の水に関する諸問題を協議検討するため設置(平成22年4月22日)した会議。

※個別課題の検討・調整を行うため、次の4つの部会等を設置している。

- ①中海湖岸堤等整備にかかる調整会議 ②中海の水質及び流動会議 ③中海沿岸農地排水不良ワーキンググループ  
④中海の利活用に関するワーキンググループ

1 日時 令和4年8月17日(水) 午後2時から3時半まで

2 場所 米子ワシントンホテルプラザ(ウェブを併用したハイブリッド開催)

3 出席者(※印はウェブ出席)

国土交通省中国地方整備局長(※)、農林水産省中国四国農政局長(※)、鳥取県知事、島根県知事、米子市長、境港市長(※)、松江市長、安来市長(※)

<オブザーバー> 環境省(中国四国地方環境事務所環境対策課長)(※)、防衛省(美保基地第3輸送航空隊装備部長)

### 4 概要

#### (1) 中海及び境水道の堤防、護岸等の整備について

○部会「中海湖岸堤等整備に係る調整会議」(事務局:中国地方整備局出雲河川事務所)から、中海湖岸堤整備の進捗状況等について報告が行われ、大橋川拡幅の前段階で中海湖岸堤を先行して時系列的に整備するという手順どおり、引き続き湖岸堤整備が進められることについて確認がなされた。

[報告の概要]

- ・中海湖岸堤の短期整備箇所については、鳥取・島根両県ともに完了しており、短中期整備箇所の整備を促進している。
- ・このうち、境港市西工業団地(貯木場北)が今年度で完成する見込みであり、米子市葭津については今年度工事を実施・完了予定である。また、米子市が策定した「中海・錦海かわまちづくり計画」に基づき、現在県が棧橋整備中の米子市灘町(米子港防波堤)については、来年度引き続き国が護岸整備を行い完成となる予定。
- ・中期整備箇所の米子市灘町(米子港野積場)については、民間の開発事業による背後地の嵩上げと合わせた一体的な整備に向けた検討を行う。

[主な意見]

- ・地球温暖化などの影響に伴う中海の水位上昇を勘案し、湖岸堤整備を前倒して進捗するとともに、水位上昇のメカニズムの解明について、幹事会で研究を深めて頂きたい。(鳥取県知事)
- ・米子地区の湖岸堤整備は順調に進んでいるが、高潮が頻発化してきているため、高潮や水位の上昇の研究をお願いしたい。(米子市長)
- ・短中期、中期整備箇所の湖岸堤の早期の完成を望む。また、今年から「雨水管理総合計画」の策定と、浸水被害の大きかった外江地区の雨水幹線等の整備に着手しており、引き続き支援いただきたい。さらに、境水道沿いの外江地区については、斐伊川水系河川整備計画において、市の内水計画が整い次第整備するというようになっており、引き続き市と国とで調整しながら進めていきたい。(境港市長)

#### (2) 中海の水質及び流動について

○部会「中海の水質及び流動会議」(事務局:鳥取県生活環境部水環境保全課)から、令和3年度の水質状況、改善に係る流入負荷対策及び湖内負荷対策の取組について報告が行われ、引き続き、現地での実証実験やシミュレーション等を行い、中海の効果的な水質浄化対策を講じていくことが確認された。

[報告の概要]

- ・令和3年度の水質は、COD(化学的酸素要求量)が環境基準点12地点のうち、11地点で水質目標値を達成したが、全12地点で達成できていないことから目標未達成となった。一方で、全窒素、全りんは全12地点で

水質目標値を達成し、目標達成となった。

- ・下水道整備や道路路面の清掃をはじめとする様々な取組により、中海全体の水質は長期的には改善傾向にある。また、米子湾の透明度は令和3年度に2メートルとなり、令和2年度に引き続き目標値を達成した。
- ・国交省の湖内対策の事業として覆砂や浅場造成が実施されており、覆砂による栄養塩の溶出抑制や浅場造成によるアサリの個体数の増加や海草藻類の増加が確認された。
- ・令和3年度の取組として、流入負荷対策では米子湾エリアの流動と河川からの流入負荷の広がり を可視化。上層と下層で米子湾奥部に向かう流れが確認されることや、加茂川・新加茂川流域からの影響は米子湾奥部にとどまる一方で、伯太川・吉田川及び飯梨川流域からの影響は中海の湖心や米子湾奥部に広がっていることを確認した。
- ・湖内負荷対策では、米子湾エリアの底質や窪地調査を実施し、窪地の底質に含まれる水には硫化水素が多く含まれていることを確認した。また米子市中央ポンプ場沖においてファインバブルによる底質改善効果の検証実験を継続しており、底質の改善効果が確認できた。

[主な意見]

- ・加茂川の河口近くでシジミが生息していることを確認した。これは中海の浄化が進んでいる一つの効果ではないかと思っている。(米子市長)
- ・覆砂は有効であるという話があったので、計画通り実施してほしい。また更なる覆砂箇所は無いのか検討してほしい。(米子市長)
- ・浅場造成や覆砂により漁業資源が回復し、海草藻類の生育に効果があると示された。引き続きしっかりと実施してほしい。(境港市長)
- ・市内の農業法人が今年有機 JAS 認証になる水稻を 10 ヘクタールで作られており、化学肥料を使わないことで流入負荷の軽減になると考えている。流入負荷への取組もこれから気を付けてやっていきたい。(安来市長)

### (3) 中海沿岸農地の排水不良について

- 「中海沿岸農地排水不良ワーキンググループ」(事務局：米子市経済部) から、中海沿岸農地の排水不良改善の取組状況について資料提供がなされるとともに、引き続き、関係機関が公共残土に関する情報の共有化を図り、客土(農地嵩上げ)材としての公共残土受入れを促進していくことについて確認がなされた。

[報告の概要]

- ・崎津モデルほ場(A=3.3ha)において、令和3年度はA=0.1ha、令和4年度分は0.5haの合計0.6haの客土を実施し、全体進捗が78%となった。また、令和元年度から彦名地区(A=0.7ha)で排水対策工事に着手し、令和4年12月には完了見込みとなった。
- ・対策農地における営農改善が図られ、ねぎなど栽培が可能となったと農業者から評価を受けた。

[主な意見]

- ・整備済み農地では作物栽培が可能となるなど成果があった。なお、調達する客土材は対策農地と同一土質でなければ農家も栽培する作物について選択できない。(米子市長)
- ・国土交通省・農林水産省及び両県における残土情報について調整をお願いする。(鳥取県知事)

### (4) 中海の利活用について

- 「中海の利活用に関するワーキンググループ」(事務局：島根県政策企画局) から、中海の利活用に係る取組状況等について資料提供がなされるとともに、今後の取組について意見交換が行われた。

[報告の概要]

- ・中海周辺のサイクリング推進に向け、サイクリスト支援体制の強化や、中国5県によるサイクリングマップの充実・活用、キャンペーンの実施等に取り組んでいく。
- ・中海・宍道湖一斉清掃や中海オープンウォータースイム 2022 の開催など、新型コロナの感染対策を行いながら、コロナ禍でも可能な範囲で利活用事業を実施している。
- ・米子港のウォーターフロント開発の促進等、中海ワイズユースと連携した地域活性化に寄与する拠点づくりを進め、中海周辺の賑わいの創出を図っていく。
- ・中海の漁獲量と組合員数が近年減少傾向にあるが、中海で獲れるスズキやタイワンガザミなどは資源活用されており、また、オダエビ、アカバイなどは今後の活用が期待できる。

[主な意見]

- ・中海サイクリングコースについて、走りやすいコースになるよう沿岸自治体で少しずつでもハード整備を進めるとともに、走行地点や目標までの距離、休憩所、飲食できる場所の情報提供など、観光客が走ってもわかりやすいコースとなるようソフト対策も進めていくことができたらと思う。(米子市長)
- ・水質と漁獲量の関係性など、引き続き分析・検討を進め、現状の課題・対応策等について今後も中海会議に報告いただきたい。(松江市長)

# 第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会「種牛の部」鳥取県最終予選会の結果について

令和4年8月19日  
畜産課

令和4年7月28日に、JA全農鳥取中央家畜市場（琴浦町）で鳥取県最終予選会を開催し、10月に開催される第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会「種牛（しゅぎゅう）の部」の出品牛が決定しましたので報告します。

## 1 最終予選会の結果

厳正な審査の結果、鳥取県代表牛14頭が下表のとおり決定された。

なお、「肉牛（にくぎゅう）の部」は8月1日から4日まで巡回調査を行っており、その結果をもとに8月26日（金）に開催する出品候補者との意見交換会で出品牛を決定する予定である。

出品区		出品牛				出品者	
		名号	生年月日	父	母（母の父）	住所	氏名
1区	若雄	登鵬1 （とうほういち）	R2.11.12	白鵬85の3	ひさよ7 （勝忠平）	琴浦町	畜産試験場
2区	若雌の1	あやだいせん	R3.6.15	大山雲	あやはくほう （白鵬85の3）	伯耆町	田中裕之
3区	若雌の2	なおひら5	R3.4.11	幸紀雄	なおひら3 （白鵬85の3）	伯耆町	宮崎浩樹
4区	繁殖雌牛群 （血縁の近い雌牛3頭1群）	しばはくひめ	H30.2.25	白鵬85の3	しばひめ3833 （隆之国）	伯耆町	木嶋真理子
		ひろしらきよ	H28.8.25	百合白清2	ひろふくひさ1 （安福久）	大山町	小谷茂
		125ひろさかえ	H28.1.12	百合白清2	第12ひろさかえ （勝忠平）	伯耆町	木嶋泰洋
5区	高等登録群 （母、娘、孫の3頭1群）	しばひめ3833	H25.2.25	隆之国	しばひめ38 （勝忠平）	伯耆町	渡辺貞男
		りんえい34	H31.1.28	白鵬85の3	しばひめ3833 （隆之国）	伯耆町	木嶋泰洋
		りんえい341	R2.11.10	百合福久	りんえい34 （白鵬85の3）	伯耆町	木嶋泰洋
6区	総合評価群 （種牛区、4頭1群）	べりいはびねす	R3.4.13	元花江	わかなはびねす （白鵬85の3）	伯耆町	田中裕之
		さくら	R3.4.11	元花江	やまと （白鵬85の3）	伯耆町	宮崎浩樹
		あやひめりりい3	R3.3.17	元花江	あやひめ22 （白鵬85の3）	伯耆町	木嶋泰洋
		いとはな	R3.1.3	元花江	いとはくほう （白鵬85の3）	日南町	山形美智也
特別区		てん	R3.6.26	白鵬85の3	しばひめ313 （百合茂）	倉吉市	農業大学校

## 2 今後の出品牛決定のスケジュール

（肉牛区） 8月18日：第2回選畜委員会（出品候補牛の選抜）

8月26日：出品候補者との意見交換会（出品牛の決定）

〈全体〉 9月1日：第12回全共鹿児島大会の出品牛最終申込期限

## 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

令和4年8月19日  
農地・水保全課

【新規分】								
主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	工事内容	摘要
農地・水保全課 (中部総合事務所農林局)	北条用水路改修工事(2工区)	倉吉市 巖城	福井土建株式会社 代表取締役 福井 重秋	103,620,000円 (設計額112,834,700円)  落札率91.8%	令和4年8月22日 ～ 令和5年3月10日	令和4年8月5日	【工事内容】 水路改修工事 L型水路 L=442.5m 上部石積み等耐震化工 1式 付帯工 1式  仮設工 水替工 1式	制限付一般競争入札 2社  令和4年7月26日 開札
農地・水保全課 (東部農林事務所)	大井手古海地区特定管水路(管渠更生)工事	鳥取市 古海	株式会社 大晃工業 代表取締役 高田 重利	154,550,000円 (設計額167,382,600円)  落札率92.3%	令和4年8月17日 ～ 令和5年3月15日	令和4年8月17日	【工事内容】 管路工事 管更生工 L=296m(φ1000mm) 管理孔 N=1箇所 道路復旧工 1式  仮設工 地盤改良工 368m <sup>3</sup> 矢板等土留工 4箇所	制限付一般競争入札 12社  令和4年8月2日 開札